



9月 ほけんだより

令和7年8月29日

防災週間（8月30日～9月5日）

9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。

また、お子さまにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。

おうちの中にも事故やけがを招く危険な物がたくさんあります。事故を防ぐために、確認をしてみましょう。

- ・子どもの手の届く場所に置いてはいけない物
（薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、子どもが飲み込める大きさの細かい物など）
- ・踏み台になる物はベランダに置かない
- ・コンセントなどをいたずらできないようにする
- ・遊び食べに注意する（食べ物が喉に詰まることがある）
- ・浴室には子ども1人で勝手に入れないように工夫する



家の中の事故を防ぎましょう

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、じつは事故の危険の高い場所だということをご存知でしょうか？

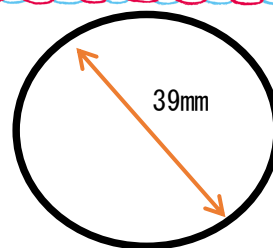
0～6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。家の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェックしてください。



炊飯器や電気ポットなど調理器具により火傷が多い場所。



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離した好きに溺れるなど、水の事故の危険があります。



小さいものはしっかり管理

3歳の子どもの口の大きさは約4cm
これより小さな物は、子どもの手の届かない場所に保管しましょう。

ボタン電池、ナッツ類、タバコ、薬など、身近な物でも飲み込むと危険な物はたくさんあります。



台などに上がって手すりを超える事故が、3歳以降急増します。危険な物はないかチェックしましょう。